



さなぶり運動会

各地区恒例の「さなぶり運動会」が、晴天に恵まれた6月の8日と15日の日曜日に、それぞれの地区で、要求米価実現大会をかねて行われ、綱引きや遊競技などに大きな盛りあがりをみせていました。(写真は、栄地区で老人クラブのパン食い競争)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 25,502人	(11人増)
男 12,498人	(7人増)
女 13,004人	(4人増)
世帯数 7,108世帯	(4世帯増)

六月定例町議会 出川町長行政報告



全県高校総体 (女子走り高跳)

五十五年六月定例町議会は、六月二十五日から七月四日までの十日間の会期で開かれております。

議会は、六月二十五日に町長の行政報告と提出議案に対する大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託。二十六日は休会、二十七日、二十八の両日は一般質問、三十日から各常任委員会が開かれており、七月四日に本会議を開いて閉会することになっております。

六月定例町議会で、出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。(なお、決定した議案については七月十五日付け広報で報告します。)

集団転作56%が実施

三年目を迎えた水田利用再編対策は、目標面積の増といふきびしいなかで四月十五日付で正式配分を完了し、現在転作実施計画書を集計中ですが、全体の四十%を占める大豆は、早いところで五月十五日頃より植付し、六月十五日にはほぼ終了しました。

目標面積三百五十一haに対し、実施面積は三百六十三ha(百三%)の見込みで、目下現地確認に入っているところであり、また、

集落ぐるみの計画転作(集団転作)は、昨年度より五集落増えて七十九集落中、四十四集落(五十六%)が実施する計画であります。

本年産米売渡数量

十九万三千四百俵

本年産米の政府事前売渡申し込み限度数量は、うるち米十九万一千四百一十一俵、もち米二千二百六十九俵、合計十九万三千四百十俵で昨年より九千五百五十七俵の減となっております。

九万三千四百十俵で昨年より九千五百五十七俵の減となっております。

おりますが、転作の実施状況とあわせ、六月二十日付で各農業者に配分通知をいたしました。

山村振興事業については、環境整備事業として綴子基幹集落センターおよび上舟木生活改善センターの設置を予定しており、団体営草地開発整備事業としては、綴子地区源右エ門沢十一ha、栄地区李岱六・五haを計画し、県との協議も終了したので今回の補正予算に計上しており、正式認可ありしだい工事を発注する予定であります。

陣場袋地区農免農道事業は、一、二、三期分延長六千九百五十九の内、五千九百七十二の路体工事と二千五百三十六の舗装工事が完了し、本年度は一千七百二十九の舗装工事を施工する予定であり、路体工事延長百二十三と舗装工事延長一千八百三十は、五十六年度に完了の予定であります。

摩当、向黒沢間 今年中に舗装完了

団体営農道整備事業については、摩当、向黒沢間延長三千二百二十一の内、一千二百二十八の舗装工事を完了し、残延長一千九百九十三については七月中に発注し、本年度中に全線完了いたします。また、石の巻線は延長一

千四百四十四の内二百を完了し、五十五年度は用地買収も含め、約五百の工事施工を予定しております。

小糠沢線は、五十五年度用地買収と約四百の工事施工を予定しております。

林道追加事業では、林道開設事業を重点にすすめており、本年度事業分の七日市黒森線九百二十および綴子柵木岱線四百のほかに、葛黒林業センターの設計をそれぞれ終了し、現在県において審査中であり、早期発注を期しております。

保育所入園児 全町で五百十人

本年度の保育所入園児は、町立三施設で百五十人、私立四施設で三百六十人となり、おひ、保育料の保護者負担の軽減についても前年度と同様に、園児二人以上をもつ世帯および五歳児に対する最高限度額の軽減をすることにより、

国民年金については、農業所得の伸びやなみ、経済不況等て心配された保険料収納率(検認率)は、各関係者の努力にもかかわらず九十六・五%にとどまり、また無年金者を救済するための特例措置も六月末日の期限を前に、社会保険事務所と協力しながら保険料の納付督促、年金制度の普及徹底に努めております。

旭町墓地移転 七月上旬に開始

旭町墓地移転については、昨年十月から関係者(百九十八内無縁二)個々に面談の結果、百四十人の承諾を得ました。が、なかには早期移転を望む者もあつて、二回の説明会を開き、第一次移転工事を七月上旬に開始し、お盆前に完了するようとりすめることにいたしました。残りの五十六人に対しては、引き続き交渉を重ねてまいります。

鷹巣町中小企業振興資金制度の利用状況は、八十五件の一億七千七百七十五万円になっており、五十五年三月末貸出残高は百九十四件二億二千七百八十六万四千円になっております。

町営住宅24戸や 道路関係を発注

建設関係の当初予算に計上された工事請負費五億七千九百八十六万二千円に対し、現在までに発注した事業は三十二件九千七百五十四万二千円で、予算対比十六・八%となっております。

発注した工事の内訳は、道路関係が九件で五千七百七十二万二千円、河川関係が四件七十八万八千円で、これは主として災害対象にならない工事を単独で施行したものです。公園関係は八件で三千四百九十九万四千円ですが、陸上競技場の周辺整備を実施しています。住宅関係は一件五十万円で、本年度建設予定地の整地費であります。災害復旧は十件で三百六十二万八千円、これは応急本工事または応急仮工事と単独災害となっております。

今後発注を予定しているもの主なものは、道路関係では坊沢黒沢線の改良工事、都市計画では都市下水道、都市公園整備、また町営住宅関係では木造八戸を含む二十四戸を南鷹巣団地に、十月末日の竣工を目標に発注する予定です。

あります。公共土木施設災害については、昨年に引き続き甚大な被害を受けました。発生件数は八十二件で、被害額は二億五千八百八十一万八千円となっております。復旧工事につきましては、道路災害を優先的に着手施行しますが、災害対象にならない災害が若干ありますが、これらのものは町単独災害をもって施行しています。なお、昨年生じた百一十カ所の三十%と本年生じた八十二カ所の四十%にあたる災害は、今年度において復旧する予定であります。

上水道事業 軌道に乗る

上水道事業においては、五十四年度決算において二千二百五十七万六千五百五十円の純利益金をあげることができ、繰越欠損金千七百二十万六千八百五十二円を解消し、未処分利益剰余金五百三十六万九千九百九十八円を得ることができました。

また、加入状況については、本年度目標新規分八十件に対し、五月末日までに五十二件の実績となっております。五十五年より二カ年継続事業として計画しております親子簡易水道事業については、今議会に予算を計上しております。

五十五年四月一日より、新たに西幼稚園が発足し、園長ほか四名の教員のもとに、七十一名の園児が元気に通園しております。

昨年七月より工事をすすめていた県内初の全天候型陸上競技場が完成し、去る五月二十五日付をもって、財団法人日本陸上競技連盟より、第二種公認陸上競技場の認定を受けました。

その記念行事として、第二十六回秋田県高等学校総合体育大会陸上競技大会が六月六日より九日まで四日間、県内六十八校選手、役員一千五百四十三人の参加を得て開催されました。

なお七月十八日より三日間、第二十六回全日本中学校通信陸上競技大会兼第二十九回全県中学校陸上競技大会が開催される予定となっております。本年度の町民税、固定資産税、軽自動車税の課税事務も

概ね完了しましたが、町民税は納税義務者が九千六百一人、調定額は三億三千九百七十一万一千円で前年度比百十四・四%。固定資産税は納税義務者が八千二百六十七人で、調定額は三億八千二百四十五万四千円で前年比百十二・八%。軽自動車税は五千六百七十七台で、一千百三十四万一千円となっております。

54年度一般会計決算 二億四千万円の黒字

五十四年度会計は五月末日をもって、出納閉鎖を終り、決算事務の整理期間中であり、決算事務の概要を報告いたします。

一般会計の歳入総額は四十二億五千七百六十二万円、歳出総額四十億一千六万九千九百九十八円で差引残高二億四千七百五十五万一千円となりました。

予算執行状況は、予算総額四十一億八千三百十万六千円に対し、収入済額は、四十二億五千七百六十二万円で、七千四百五十一万四千円の収入増となっており、その主なるものは、町税三千六百四十五万五千円、地方交付税九千九百六十一万一千円、地方譲与税二千六百七十七万一千円、自動車取得税交付金五百二十九万八千円、諸収入一千八百六十六万六千円等で、収入減となっているものは、町債五千三百六十万円、国庫支出金四千二百八十八万八千円等であります。

一方歳出では、予算総額四十一億八千三百十万六千円に対し、歳出総額四十億一千六万九千九百九十八円で執行率九十五・八%となりました。

一億七千三百三十七万七千円の不用額が出ておりますが、そのなかに体育館用地買収費五百十九万五千円が未払となっているほか、都市下水道費の繰越明許費一億五百五十万円が含まれております。

なお、国保会計についても一億八千三百五十七万九千円程度の繰越金が生ずる見込みであり、そのうち国庫返済金が一千三十六万八千円を予定しているが決算における積立を考慮し今議会に財政調整基金条例を提案いたします。以上が六月定例町議会で出川町長が発表した行政報告の要旨です。

研修集会施設

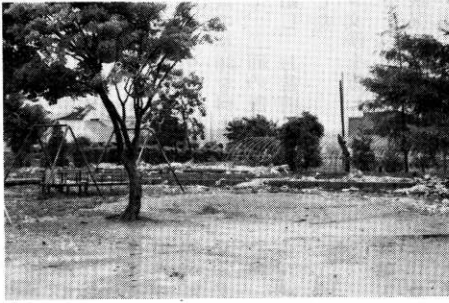
綴子と上舟木に建設

— 農村地域特別対策事業で —

町では、第二期農村地域農林漁業特別対策事業として、研修集会施設を綴子と七日市上舟木の二カ所に建設すべく国に要望していましたが、このほど二カ所とも採択となったことから、さっそく現在開会中の六月定例町議会に關係予算を上程、これが決定次第、七月中にも工事を発注、年内にも完成させたいとしております。

綴子に建設するのは、既設の七日市基幹集落センターと同形態のもの。一方、上舟木に建設するのは、昨年、黒沢と明利又々に建設した「生活改善センター」で、いずれも農林業経営の技術研修や後継者育成の場として活用されることはもちろんですが、地域コミュニティづくりの中心施設として広く活用されることとなります。

計画によると、綴子基幹集落センターは、綴子下町の旧綴子公民館と同診療所を解体した跡地に建設するもので、建物は鉄骨づくり



綴子基幹集落センター建設用地
旧綴子診療所跡地

一部二階建てで、総面積は七百三十三平方メートル。一階は、二百二十四・〇平方メートルの大会議室、六十・一・〇平方メートルの婦人研修室、五十七・六〇平方メートルの生活改善実修室、三十八・七七平方メートルの談話室、二十八・一五平方メートルの管理室及び健康相談室のほかに収納庫、ロビーなど。二階は、六十三・三八平方メートル

公害対策審議会開く

環境保全に全力

衛生思想の高揚も

町の新しい公害対策審議委員十人と、環境保全モニター十五人が決まり、六月四日役場会議室でそれぞれの会議が開かれ、委嘱状の交付と五十五年度の事業計画を審議しました。

五十五年度事業では、町民の健康と良好な環境の保全を図るため、公害の防止に努め、住民には衛生思想の高揚など、次の事項を推進することになりました。

(清掃事業) ①一般廃棄物収集処理と再資源の回収 ②不法投棄の撲滅と河川のクリーンアップの

の農林業経営技術研修室と三十四・九六平方メートルの小会議室からなっています。

また、上舟木生活改善センターは、現在バスの駐車場となっている隣接地に建設するもので、建物は木造平家建てで、総面積は百五十四・四六平方メートル。内部は、五十七・八三平方メートルの集会室、二十八・九一平方メートルの研修室、十九・八三平方メートルの実験室のほかに芸能保管庫、物入、ホールなどが予定されておりあります。

なお、事業費は綴子基幹集落センターが億八千六百九十九万円、上舟木生活改善センターは一千二百九十七万円が見込まれています。

実施 ③清掃意識の高揚

(公害) ①水質汚濁防止のため施設の巡回指導と立入検査、水質検査 ②畜舎等の悪臭の防止 ③稲わら焼きなど大気汚染の防止 ④工場騒音や道路騒音、振動公害の指導体制の強化

公害対策審議委員と環境保全モニターは次のとおりです。(任期はいずれも五十七年三月三十一日まで)

(公害対策審議委員) 〇会長 大川利一(学識経験) 〇委員長 篠内勲(農業) 〇委員

町長日誌

6月1日～6月15日

2日 県北地区高齢者大学園開講式

4日 環境保全モニター会議

5日 農政に関する市町村長東北ブロック懇談会 仙台市

6～9日 全県高校総体陸上競技大会

11日 町内現場視察

14日 町消費者の会設立総会

15日 栄地区・伊勢町体育祭

6月1日～6月15日 議会日誌

4日 議会報編集委員会研修会

町村議長会 秋田市

10・11日 議会報編集委員会行政視察 岩手県

〃村上士良(県自然保護指導員)

〃小林喬吉(保健所長) 奈良康一

(医師) 長谷川正(鷹巣土地改良区

理事長) 佐藤敏子(坊沢婦人会長)

小塚純一(農業) 吉岡興(議会教

民委員長) 清水修智(同産経委員

長)

(環境保全モニター)

三沢良子(末広町) 小塚タエ(三

吉町) 九島勇吉(新旭町) 原義

豊(米代町) 畠山要吉(南鷹巣)

小坂誠一(摩当) 工藤愛子(田中)

佐藤丹藏(田子ケ沢) 畠山堅逸(二

本杉) 永井修二郎(坊沢) 野呂

健二(緑ヶ丘) 野呂満美(前山)

畠山慎之進(藤株) 長岐仁太郎

(七日市) 堀部哲秀(葛黒)

衆参同時選挙終わる

投票率は73・10% 衆議院

参議院 全国区の無効二千六百票



去る五月三十日公示の第十二回参議院議員通常選挙、六月二日公示の衆議院議員総選挙は、衆参両院同時選挙で六月二十二日に投票が行われ、翌二十三日午前八時から全国一斉に開票が行われ、同日中に新しい私たちの代表が決まりました。

〈全国区・当町での得票順位〉

Table with 4 columns: Rank (順位), Candidate Name (候補者氏名), Local Votes (当町得票), and National Rank (全国順位). It lists candidates like 黒崎次郎 and 藤原房雄 with their respective vote counts and national rankings.

県六十九市町村のうちで下位から二番目の低い投票率でした。参議院議員通常選挙での投票者総数は一万三千四百七十七人で、投票率は七十三・〇八%でした。

票と、当町における参議院全国区(別表)二十位までの得票結果は次のとおりです。 (一)内は、当町での得票数 (衆議院議員選挙結果) 当 佐々木義武(自前) 一〇一八六票(二二〇二票) 当 佐藤 敬治(社元) 七七一〇票(四六六二票) 当 石田 博英(自前) 七四五三票(四〇二五票) 当 川口 大助(社前) 六九一五〇票(四八一票) 次 中川利三郎(共前) 六一八六三票(一九六三票) 佐藤 敬夫(無新) 二七三七八票(五一七票) (参議院議員選挙結果) 当 佐々木 満(自現) 三四二七六票(四九一四票) 次 沢田 政治(社元) 二七三五〇六票(五七九二票) 伊藤 昭二(共新) 六五三七六票(一一三四票)

施設見学会へどうぞ

町勢の伸びを 直接ご覧ください



し尿処理場の施設見学

発展を続ける町の姿などを、町民のみならずにご覧いただく施設見学会を行います。部落会(町内会)の婦人会や老人クラブ、あるいは隣近所などお誘い合って申し込みください。

【見学コース】 役場、胡桃館蔵庫、陸上競技場、屋内プール、し尿処理場、と畜場、上水道本館、南鷹巣団地、墓地公園、中央公園(運動公園) ほかを回り役場前で解散

※時間は、午前九時三十分役場前出発、正午まで。ただし、町の施設(青葉荘など)で休憩を希望する場合は午後三時解散となりますので、昼食をご用意ください。 【申し込み先】 鷹巣町役場総務課広報係へ電話でどうぞ。詳細についてもお問い合わせください。 電話二二一一一 内線二四四

【その他】 見学日については、申し込みの時点で希望する日を考慮の上、決定したいと思えます。 参加者は、できるだけ身軽な服装で参加してください。

おしらせ



無料調停相談会を 鷹巣公民館で開催

無料調停相談会が七月十一日(金)午前十時から午後三時まで、鷹巣公民館で開催されます。

相談内容は、金銭問題、土地・建物に関する紛争、交通事故、離婚、相続、親族間の紛争など。相談内容等の秘密は固く守られます。相談には、弁護士、調停委員の方があたります。

青少年を 非行からまもる

全国強調月間の実施

最近、少年の非行が著しく増加していることから、これに歯止めをかけるため、七月一日から三十一日までの一カ月間、「青少年を非行からまもる全国強調月間」を実施することになりました。

鷹巣警察署管内の一月から五月までに補導された少年は、昨年よ

り七十一人(三十・七%増)多い三百二人となっております。

このような増加傾向にある少年の非行を防ぐため、「人の子と思ふな、かけよう愛の声」をスローガンに、町民のみなさんご協力を得て運動をすすめることになりました。

次代を担う少年たちに、愛の一声をお願いします。(鷹巣警察署)

母子家庭法律相談

大館・北秋田地区の母子家庭を対象とした法律相談所を、七月十三日(日)午前十時から鷹巣公民館和室で開きます。

当日は、水沢弁護士が相談を受けられます。お気軽にお問い合わせください。

今年の成人者に 記念作文を募集

昭和五十五年度の成人式は、八月十五日鷹巣公民館で行います。町の教育委員会では、この機会に成人になられたみなさんから作文を募集し、若人の建設的な意見をとり入れた新しい町づくりの糧にしたいと考え、次の要項で成人記念作文を募集することにしました。

成人の記念に、あなたのご意見をどしどしお寄せください。

▽資格 今年成人を迎える男女

▽題 ①成人になって思うこと
②二十歳の権利 ③こんな鷹巣町にしたい ④職場(サークル等)を通しての生きがい ⑤私

の人生観

▽字数 四百字詰原稿用紙五枚以内

▽選考 応募作品の中から、優秀作を若干名

▽締切り 七月三十一日

▽応募方法 教育委員会が公民館へ、郵送または直接持参ください。

婦人家庭バレー ボール参加受付

第二十五回鷹巣町婦人家庭バレーボール大会が、七月二十日午前八時半から鷹巣体育館で開かれます。

参加ご希望のチームは、七月十五日午後二時まで、教育委員会社会教育係(戸島)へ申し込みください。

チームは、各部落または地区単位で、戸数五十戸〜百戸ごとに編成してください。

県民体育大会バス ケットボール競技

第三十一回秋田県民体育大会バスケットボール競技会兼第三十五回栃木国体秋田県代表選考会は、七月四日から六日までの三日間、鷹巣体育館を主会場に鷹巣農林高校、鷹巣高校の両体育館でも行われます。

成年男女、少年(高校)男女がそれぞれ栃木国体出場をめざして熱戦が展開されます。

郷土史年表

10

西暦	年号	事
一七六二	宝暦十二	(全国人口 二千五百九十二万一千人) (ルソーの民約論出る)
一七六三	宝暦十三	○綴子、一月高橋八郎兵衛隆章、勲功により苗字帯刀永く御免仰せ付けられる。
一七六五	明和 二	○九月 三九郎台村に打直検地あり、分米 十八石五升九合
一七六六	明和 三	○八幡宮(綴子神社) 田に復して寺号を賜わり神宮寺と称す。 (ワット蒸気機関改良す)
一七七〇	明和 七	○栄、郷普請船の焼印あり、役銭一艘につき百文賦課される。
一七七七	安永 六	○二月 今泉村当高八十九石七升八合、家数四十七戸、人数百七十一人、馬五十三頭
一七七八	安永 七	○七月 米代川大洪水で田畑の損害莫大であった。
一七八〇	安永 九	○坊沢本村 戸数二百六十五戸 人数 千五十人
一七八一	天明 一	○栄 普請船 二艘新造す ○三月十六日 今泉村十戸焼失 ○力土白川、坊沢に生まれる
一七八二	天明 二	○七月二十三日 大館城代、久保田登城の節 坊沢村、喜左エ門家に宿陣す
一七八三	天明 三	○今泉、十戸全焼
一七八四	天明 四	○般若院英泉、田中の寓居で死去 ○夏中東風が吹き、稲実らず大凶作となる。坊沢は四分作で餓死五十名でた。 ○前年からの大ききんで綴子も大悲惨事となる。太田新田村は疫病が流行し、死人が続出、米一石十五貫文となった。 ○三月七日 鷹巣村焼失、火元新兵衛 ○菅江真澄が久保田に来る。(続く)

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ



『町民生活の向上をめざし』 消費者の会が誕生

町の「消費者の会」設立総会が、六月十四日午後二時から鷹巣公民館に八十人の婦人が参加して開かれました。

消費者の会は、「消費生活に関する知識を普及し、関係機関に対する意見の反映と、生産者や販売業者の協力を得て町民生活の向上を図る」ことを目的に結成されたもので、会長に奈良幸恵さん、副会長に花田和さん、三沢良子さん、それに監事三人、会計二人、運営委員十五人を決めたほか、「消費者と販売業者との意見交換」などの事業計画も決めました。



『七日市吉野子どもの村に』 ガールスカウト隊が誕生

県北では初めて、県内でも六番目のガールスカウト隊が、七日市吉野子どもの村で発団しました。

隊員は、小学校一年生から三年生までのブラウニースカウト、四年生から六年生までのジュニアスカウトで、中央小学校から十四人、南小学校から三人、竜森小学校から六人、それに比内養護吉野分校から三人が入隊。

六月十四日午後三時から、吉野子どもの村で行われた発団式では、制服を包んだ隊員一人一人がガールスカウトの「やくそく」と「おきて」を守ります」と、宣誓していました。



『公民館のピアノ開きを兼ね』 県北合唱祭を開く

第二十六回県北合唱祭は、このほど鷹巣公民館に購入したグランドピアノの弾き初めを兼ねて、六月十四日午後二時から鷹巣公民館で開かれました。

合唱祭は、花輪、大館鳳鳴、大館桂の各高校、それに地元から鷹巣混声合唱団が参加、「深山には」「夏の思い出」など、すばらしい合唱を聴かせたのを始め、成田美智子さん（米代町）、河田真知子さん（広小路）のピアノ連弾に、盛大な拍手がおくられていました。

結婚の相手を考える

町連青の学習会で



鷹巣町連合青年会(三沢博隆会長)は、六月十四日(土)午後七時半から、中央公園の青葉荘に宿泊、青年大学を開いた。テーマは①私の男性観、女性観 ②私の結婚への条件である。

当日の参加者は男女会員約四十名で、二つの分科会にわかれて、話し合った。ときどき爆笑が出るなど、楽しいふんいきの中で、真剣な意見交換がなされた。

男に望むこと

頼り甲斐のある人

女から男に望むこととして出された意見は、

○男は度胸、ものごとに徹する人
「なっちゃんの写真館」の夏子の夫(亮平)のような人

○理解のある人、なんでも話せる人
○人柄のよい人、スタイルは気にしない。うわ気しない男、立派すぎるとかえって心配だ

女に望むこと

健康と愛嬌

○まず健康が第一だ。スポーツの好きな女がよい。
○愛嬌があつて、何でも話せる肩のこらない人

○こまかいことに気をつく女。夫と共に田畑に出て働いてくれる妻であつてほしい。しかし古い型の百姓女にはなつてももらいたくない。

○厚化粧する女は嫌いである。などが出された。

理想と現実のちがひ

話し合いの中では、つぎのようなことが出された。結婚の相手として、理想的な男性像、女性像を頭の中で描くことは結構だが、何もかも三足そろつて申し分のない人はいるものでない。バラ色の夢を見ていたものが、年とともに現実ばなれしていることに気がつき妥協していく。(妥協でない。条件に対する許容範囲が広がるのだとの反論もあつた)、更には、同居する両親とうまく合わせてゆけるかどうかを第一に考えるようになる。

また、どんなに好きな相手であっても、ムコとり長女とわかれればそこから考え方が変わり諦めてしまふ。諦めない、との意見もあつた。ムコとり長女の場合も同様で、二、三男の少ない現実はまだことにきびしい。

結婚の時期は

結婚の時期について、二十歳の頃は二十一、三歳で結婚しようと考えたが、それができず、二十三歳頃になると、二十五、六歳ごろと、考えるようになる。そして更にすれゆく。結婚適齢期はその人の考えによるもので、何ともいえない。

今の親は本人に任せるといふが必ずしも任せてはくれない。いざ結婚となると、いろいろ条件を出してくる。しかし、あくまでも最終決定は本人自身である。など出された。

分科会終了後は懇親会、第二日目は、映画上映、全体会を開き、午前十一時散会した。

部落訪問



ぬか ざわ
= 糠 = 沢 =

国鉄奥羽線、糠沢駅のある所は、また国道七号線を大館に向つて走り、最初の峠にさしかかる手前の集落である。糠沢川がここで米代川に合流している。梅雨の降る六月十一日、前の自治会長、山内藤一郎さん宅を訪ねる。糠沢の自治組織は、昔からの集落に戦後できた小さな団地、「ひまわり」「旭ヶ丘」「ひばり」など合わせて現在は百五十世帯になっている。

綴子村史には、永正十七年(一五二二)浅利氏の家臣 太田四郎左衛門がここの上岱の要地に館を築いたとある。糠沢部落は、もつと米代川寄りであつたもので舟つき場として重要な場所であつた。鷹

巣盆地のかんがいが用水はここをせき止め、下流の水田に流されていたので、舟をのぼらせる時は一たん荷をお



糠沢にある円空作の仏像

ろして、せきねを越さなければいけなかった。その荷運搬にこの若者たちは働いた。

また、糠沢川上流一帯の国有林は天然杉の豊庫であつた。多い時には年間二万石も、この貯木場に運び出され、筏に組まれ能代方面へくだつていった。明治から大正の頃、トロッコで、人ソリで、馬ソリで若夫婦たちが暗くなるまで働き、子どもらはちようちんさげて迎へに行つたものである。と、山内さんは思い出を語ってくれた。

ここには江戸初期の修験僧、円空作の仏像がある。墓地わきにある庵寺(真言宗、宝珠庵)から発見されたもので秋田県の文化財に指定されている。昭和四十一年に廃校になつた綴子小糠沢分校の校舎は今、部落会館となり、若妻学級、青年会、子供会に絶えまなく活用されている。

「何より大切なことは、部落の和です」と、山内さんは自治会長の十年間の経験を語つてくれた。(公民館長・長崎 久)

みんなの広場



よぶすまそう

山菜のボンナ。特有の香りがあっておいしい。同じ場所に群生する。

(理科センター・阿部達雄先生)

お母さんの勉強室をみて

舟見町 川向 妙子 (34)



毎週水曜日午前十一時二十分から、NHKの「お母さんの勉強室」を楽しく見ております。お昼前のひとときにホッととした気持ちで見ているのですが、自分自身とっても反省させられる時です。健康からしつけ、学習まで広い分野にわたって放送されますが、毎

回のように家庭教育のあり方、特に母親のありかたが指摘されるからです。お母さんに原因があつてダメな子どもにする。それどころか子どもを病気にしてしまうという久徳先生のお話にはおどろきました。良しと思つてやっていることが実は子どもに悪影響をおよぼしている、ということに気がついております。ないおかあさんが少なくないと思います。それを気づかせてくれるのがこの番組だと思います。私もぜひぶん反省させられました。あらためて家庭教育のありかたを痛感しております。

「染めるには簡単だが、染め変えるのはむずかしい」と言われますように、いったん染めこんでしまつ

広報のしおり

扇風機は首ふりで

省エネ ルギー時代を迎えて、冷房カットの家庭もふえることでしょう。その代替としては、扇風機が大きな顔をすることでしょう。でもこれも上手に使わ

ないと、冷房を長く続けるのと同じように身体に毒になります。扇風機を上手に使うコツは、風をできるだけ自然の風に近づけることだといえそうです。扇風機の風は、いつてみれば一定の速度で直通してくる風の束といえます。ですから、この束をできるだけ散らせばよいわけです。つまり「首

振り」にすることです。それも、少し長く使う場合は「強」にしないうちを上げましょう。このことは、環境への順応力の十分でない乳幼児の場合、とくに大事だといわれます。なるべく暖かくして子どもから二、三メートル離し、しかも必ず首を振らせる——これが小児科医からの注意です。

ぼくのおとうさん

ぼくのおとうさんは、ガソリンスタンドにいつてはたらいいます。おとうさんはとてもちからもちです。おもいドラムカンをくるまにのせてはこびます。ぼくはすごいなあとおもいます。おとうさん、「いらしゃいませ」「どうもありがとうござい



鷹巣小学校1年 いしだ やすのり

た子どもの性格を変えるのは容易なことではありません。一、二年生のうちはまだ素直でかわいいものです。お母さんのやり方次第で立派に染められることでしょう。子どもの非行がどんどん低年齢化している現在、家庭でのしつけが大切だと思つた「しつけ」が大切だと思つた。この番組をみるようになってから、少しずつ子どもを見る視野が広がつて来たように思います。町生涯教育奨励室より、各小学校を通してPTA(この番組を記録した「すこやか通信」も出ており、またこの番組のVTR(録画)も用意しておるようです。皆さんもこの番組をご覧になることを是非お勧めいたします。

たかのす文芸

北への旅

坊沢 藤島 まさと

(船中ノ車窓)

海に空ある確かさや旅五月北の旅路風硬ければ蝶棲まず難しき地名車窓は夏の色

(登別)

芽木の雨津軽訛が重たくて子らが結ぶ夢は五月の空の色

(札幌)

雨の旅初夏の余韻が空しくて夢を追う子らに洞爺へ虹の橋

(中山峠)

この道の記憶タンポポの黄を愛す

(洞爺・昭和新山)

コーラ缶捨てれば夏の音の鏗

(帰郷)

火の山の息岬より晴れて夏地より噴く硫気五月の旅充たす

(帰郷)

遠郭公旅やわらかに箸を割る

(帰郷)

初夏の旅終わる日記の斜め書き

おしらせ



七月の健康相談

七月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

むし歯予防と家族計画指導は、八日です。

時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れないでお持ちください。

妊婦健康相談は、七日と二十一日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊婦体操と妊娠前半期の注意について、時間は、午前十時半から十一時半まで。

半まで。※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

離乳食実習指導は、十六日、十四年十二月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時半まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康相談は、十六日、五年三月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時半まで。

三歳児健康診査は、十日、二十二年五月、六月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時半から一時半まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでお持ちください。※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。接種日は、鷹巣地区以外の方は二十四日、鷹巣地区の方は二十五日。

受付時間は、午後一時から二時半まで、鷹巣公民館で行います。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

七月は、▽四日、▽七日、▽十日、▽十三日、▽十六日、▽十九日、▽二十二日、▽二十五日、▽二十八日、▽三十一日。地区は、▽栄・高野尻・掛泥地区、▽二十五日、▽綴子地区。時間は、午前九時から午後四時。

善意

▽七日市体育振興会(会長 佐藤福治)の方々から、さなぶり運動会での募金一、八八七円

▽秋田市、佐藤稔さんから、結婚を記念して二〇、〇〇〇円

▽脇神、本間恒子さんから三、一九七円

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。▽東住吉町、葛西正明さんから亡二男雅彦さんの香典返し

▽今泉、成田緑さんから亡夫幸悦さんからの香典返し

▽西旭町、成田タカさんから亡夫幸吉さんの香典返し

寺田服装専門学校

市民学校受講者募集!!

希望者は、どなたでもお気軽に申し込みください。

開設期間 7月29日～8月8日までの日曜日を除く7日間

内容 Aコース(胴着、袋物、カブロン、組ひもなど) Bコース(スラックスまたはキュロットスカート、楽しいエプロンなど)

受講料 無料(実習材料費個人負担)

定員 各コース20名

申し込み 7月10日まで鷹巣公民館(2-1130)へ申し込んでください。

※希望料目のみの選択受講も受け付けます。



誕生おめでとうございます

6月1日～6月15日

- 津谷麻理子(憲司) 長女)坊沢大町 三国 裕平(彰一郎) 二男)米代町 高田 真吾(勝正) 二男)栄町 藤島由美子(義信) 二女)舟見町 成田 敏正(敏男) 長男)今泉 佐藤 五月(義満) 長女)摩 当 笹原真紀子(悟) 長女)南鷹巣 佐藤 猛智(昭二) 長男)前野 佐藤 厚子(昭二) 二女)舟場 日影 真子(良昭) 二女)西仲通 佐藤麻美子(嘉徳) 長女)摩 当 戸島 竜也(広美) 二男)坊沢上町 小坂 栄光(勝之) 長男)岩 坂 奈良田和也(秋雄) 長男)学校通

二人の前途を祝福いたします

- 日下部 芳弘 島山 祐子 宮本 孝志 桜庭 愛子 照内 忠則 村上 京一 三沢 幸一 戸沢 幸子 五十嵐 ひろ子 佐藤 ひろ子

おくやみ申しあげます

- 佐藤 サン(85歳) 太平町 三沢 儀助(91歳) 田中 佐藤 強児(39歳) 西陣場倍 佐藤 孝雄(60歳) 西住吉町 佐藤 直樹(10歳) 妹尾館 成田 幸吉(61歳) 西旭町 沢野 利久(52歳) 前山 佐々木チヨ(78歳) 街道町